

「有帆校区見守り隊」

昨年11月12日発足／隊員数160人(発足時は101人)／有帆校区ふるさとづくり推進協議会・自治会・育友会・民生委員・NPO有帆会・更生保護女性会など各種団体が参加



▲下校時間、校門前で隊員に迎えられる子どもたち



▲自治会まで一緒に帰る隊員も



▲活動時に使用する腕章とステッカー

「子どもは地域の宝です」

授業が終わり、ランドセルを背負った子どもたちが元気に校舎から飛び出してきました。それを校門前に立って笑顔で迎えるのは、『有帆校区見守り隊』の隊員たち。児童は、顔見知りになった隊員に見守られながら、帰宅の途につきます。

同校区では昨年11月12日、児童の安全を地域の力で守ろうと『有帆校区見守り隊』が設立されました。昨年の7月に有帆校区ふるさとづくり推進協議会で見守り隊設立の話が出て以来、警察や小学校、育友会や地域の各種団体などの協力を得て、準備を進めてきました。活動時に着用する腕章と車貼付用ステッカーは、校区内の各世帯に150円の協賛金を呼びかけて資金を集め、手作りで作製したもので、有帆校区の豊かな自然を表した緑を基調にしています。「文字を子どもではなく『地域見守り中』としたのは、この活動を通じ、腕章やステッカーを地域で見かける機会が増えれば、不審者の侵入を未然に防ぐ効果も期待できると考えたからなんですよ。」と、杉村^{つたえ}会長は地域全体の安全にも気を配ります。

活動は「継続していく」ことに重点を置き「できるだけ登下校時間帯に」と隊員には呼びかけてはいるものの、各自の生活スタイルに合わせて、出勤時や犬の散歩、買い物に出かける時など腕章やステッカーを携行するようにしているとのこと。

「子どもは宝だと思っています。だからこそ地域でその安全を守りたい。」と力強く語る杉村会長。毎日繰り返される地道な活動は、これからも続いていきます。



有帆見守り隊
会長 杉村^{つたえ}傳さん

『多くの地域住民が参加して発足した見守り隊は、息の長い活動につなげていきたいと考えています。腕章やステッカーをつけた人に気軽に声を掛けてくださいね。』



有帆小2年^{ゆうの}
阿部^{あべ}悠乃さん、西田^{にしだ}彩乃さん
澤野^{さわの}桜々さん(写真左から)

『防犯ブザーは持っているけど、家に帰る時に一人きりになる場所がありました。今は見守り隊のおじさんと毎日一緒に帰るから、帰り道がすごく楽しいよ。』